

「夢実現」に向けて

校長 大嶺 哲司

あなたは、将来の夢が決まっていますか？将来、どのような仕事をしたいですか？

将来の夢が明確に決まっている方は、それに向けてどのようなルートで進みますか？

高校卒業後の目標が決まっている生徒にも、まだ決まっていない生徒にもヒントや手助けになるひとつがこの「進路の手引」です。

コザ高校の生徒の皆さん、部活動が忙しいからといって、本来第一にやるべき学業を疎かにしていませんか？

ここで、アップルの創業者のスティーブ・ジョブズの言葉を紹介します。「時間は限られている、だからこそ最善を尽くす」ジョブズがスピーチで語ったこの言葉は、人生の時間が限られていることを自覚し、その中で何をするかを真剣に考えることの大切さを私たちに教えてくれます。時間が無いと感じたときこそ、自分の行動を見直し、何が本当に大切なのかを見極め、最善を尽くすことが求められます。

高校生活は、限られた時間の中で多くのことに挑戦できる貴重な期間です。学業に励むこと、部活動に全力で取り組むこと、そのどちらも皆さんの成長にとって欠かすことのできない大切な経験です。本校が目指す「真の文武両道」とは、単に勉強と部活動を両立させることではなく、それぞれに主体的に向き合い、自らの可能性を最大限に引き出すことにあります。

進路実現とは、単に進学先を決めることではありません。自分自身の生き方を考え、将来どのように社会に関わっていくのかを見据え、そのために今何をすべきかを積み重ねていく過程そのものです。その一步一步の努力が、やがて大きな成果となって皆さんの未来を切り拓いていきます。

そのためにも次のことを実践しましょう！

1 自分の将来をイメージしてみる

好きな学問、好きな職業、そこから将来の自分をイメージしてください。理想的職業人の姿は、広い教養と深い専門的知識を持った人間であるはずですが、新しいことにチャレンジできる人間、意欲ある人材を社会は求めています。

2 目標を立て具体的行動計画を練る

具体的な進学や就職先を考えてみましょう。目標のレベルと現在の自分の力との差を客観的に認識し、苦手科目の克服や必要な資格取得等を具体的に目指すことが大切です。孫子の兵法にも「敵を知り己を知れば百戦危うからず」とあります。

3 進路選択のため勉強と真の学問としての勉強は一致する

進路選択のための準備や勉強を付け焼き刃とせず、真の実力を蓄えるために活用してください。幅広い教養、読解力、考える力、何より学ぶ意欲は、本質的な学力を高めるものです。本気で学んだことは一生のものとして身につくものです。基礎の勉強をしっかりとできるのは、今しかないのです。

4 最終的に進路を決めるのはあなた自身

一人一人の人生に正解はありません。進路を選択する際には十分に検討しましょう。どの道に進むとしても最後に決断するのは、あなた自身でなければなりません。そして、その進路を実現できるように精一杯努力してください。進路が実現できたら、その進路が自分にとって正解だったと言えるように一日一日を過ごして欲しいと思います。自分自身に真剣に向き合って決めたことなら後悔はないはずです。頑張りましょう。

本誌「進路の手引」は、講座等の年間計画、模擬試験の活用法などのガイダンス編、進学編、就職編、奨学金制度、先輩方の合格体験記などの資料編と内容豊富な冊子となっています。

進路を決めていくことは、重要であるだけに大いに悩み迷うことだと思います。自分の力で解決できない壁に当たったら担任や進路支援部など先生のを借りて下さい。全教職員が生徒一人ひとりの大きな「夢実現」のために全力で支援していきます。

コザ高等学校で学んで逞しく成長し、高い志が実現することを期待しています。「進路の手引」を有効活用することを期待して発刊の言葉といたします。